

菊水こまちの郷の施設長から一言！ 広報誌リニューアル！



施設長
土井 陸維

地域の皆さま、こんにちは。

菊水こまちの郷は「わが家のように、いきいきと。」を理念に、安心と笑顔あふれる暮らしを支える施設です。この広報誌は、選ばれる施設になるため、そして地域の皆さまに私たちの取り組みや想いをお届けするために発行しました。

社会福祉法人としての使命は、地域に根ざし、誰もが安心して暮らせる環境を提供することです。また、これまでご家族向けに発行していた「こまち倶楽部」をリニューアルし、地域の皆さまにも情報をお届けできる形にしました。

私たちの強みは、特養・小規模多機能・サテライト型ホームを通じて、入居から在宅まで幅広いサービスを提供できること。今後も地域とともに歩み、皆さまに信頼される施設を目指してまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

Facility Introduction

施設紹介

菊水こまちの郷の事業

私たちは、地域に根ざした以下の3つの事業を運営しています。

地域密着型介護老人福祉施設 菊水こまちの郷
小規模多機能型居宅介護 菊水こまちの郷
サテライト型小規模多機能ホーム るびなす



3事業を運営することで生まれる価値

これらの事業を複合的に展開することで、入居から在宅まで一貫した支援が可能となり、ご利用者のご家族に安心と選択肢を届けます。また、白石区内の菊水上町と東札幌に拠点を持つことで、地域により近い場所で柔軟な対応を実現。

さらに、事業間での連携により、顔なじみの職員が継続的に関わる体制を整え、信頼関係を大切にしています。

こうした取り組みを通じて、私たちは地域包括ケアの一翼を担い、社会福祉法人としての使命を果たしてまいります。

施設理念（ミッション）

『わが家のように、
いきいきと。』

この理念には、私たちが大切にしている想いが込められています。「わが家のように」——施設で過ごす時間が、まるで自宅にいるような安心感に包まれていること。「いきいきと」——ご利用者一人ひとりが、自分らしく笑顔で過ごせること。私たちは、介護や支援を単なるサービスではなく、生活そのものを支えるパートナーとして取り組んでいます。そのために、家庭的な雰囲気づくり、個別ケアの徹底、地域とのつながりを大切にしています。

Golden Plan: Komachi Care

ゴールデンプラン

『その人らしさを大切にするケア』



菊水こまちの郷では、平成24年からご利用者の希望を叶える「ゴールデンプラン」に取り組んでいます。

このプランは、個別ケアを重視した取り組みとして、「してみたかったこと」「食べたいもの」「行きたい場所」など、一人ひとりの願いを職員が丁寧に聞き取り、実現するものです。

例えば、

- ご家族と一緒に過ごす時間
- 季節を感じるお花見や紅葉狩り
- 思い出の場所へのお出かけ

その人らしさを大切にすることが、私たちのケアの原点です。

これからも、笑顔と喜びを地域に広げていきます。

Life Conversations at Komachi

ACP＝人生会議



『最期までその人らしく』

アドバンス・ケア・プランニング（ACP）は、人生の最終段階における医療やケアについて、ご利用者・ご家族・医療・介護チームで繰り返し話し合い、希望を共有するプロセスです。認知症があっても、もしくは認知症が進行しても、なるべくご利用者の意思を尊重し、最期まで“その人らしい生活”を送ることができるよう取り組んでいます。

一例ですが「最期に桜が見たい」と希望されたご利用者は、実際に外に出ることは叶いませんでしたが、居室を手作りの桜で飾らせていただくと「綺麗だね。ありがとう。」とってください。職員も感慨深いものがありました。

また、ご家族より「一緒にケアに参加してみたい」という思いが聞かれることもありました。共にケアを行うことで、残されたご家族のグリーフケアにも繋がると考えております。ご利用者だけでなく、ご家族へのケアもまた大切だと考えております。

Community Care Focus

『地域で暮らし続けたい、その想いを支えるために』

菊水こまちの郷では、住み慣れた地域で安心して暮らし続けたいという願いを大切にしています。そのために、私たちは在宅生活を支える多様なサービスを展開しています。中でも、通い・訪問・泊まりを一体的に提供できる「小規模多機能型居宅介護」は、ご利用者の生活に寄り添う柔軟な支援として注目されています。白石区内には複数の事業所がありますが、菊水こまちの郷の小規模多機能は特養に併設しつつも、サービス付き高齢者向け住宅（サ高住）併設ではありません。そのため、併設住宅のご入居者向けではなく、地域で暮らすご自宅の方を対象にサービスを提供しています。

「顔なじみのスタッフに支えられながら、できるだけ自宅で過ごしたい」そんな想いを叶えるために、本体の小規模多機能サービスに加え、東札幌を拠点にサテライト型小規模多機能【るぴなす】を運営しています。サテライト型を運営しているのは札幌市内でも珍しく、より地域に密着した支援を実現しています。

Komachi Features

菊水こまちの郷

『安心できる環境で、ゆったり暮らす』

特養が併設する菊水こまちの郷の小規模多機能型居宅介護は、重度の方にも対応できる安心の環境が特徴です。施設内にあるためバリアフリー設計で移動も安全。さらに常勤の看護師を配置し、健康管理にも配慮しています。宿泊サービスは柔軟に対応可能で、急な利用にも安心。来所時には、ゲームなどのレクリエーションで楽しい時間を過ごせます。

「安心できる環境で、顔なじみと過ごしたい」その願いを、菊水こまちの郷が支えています。



Rupinasu Features

るぴなす

『地域で、顔なじみと暮らす』

札幌市内でも珍しいサテライト型小規模多機能【るぴなす】は、東札幌の住宅街で少人数の家庭的な支援を行っています。マンションの一室（5LDK）の住宅を改修し、ゆったり過ごせる環境を提供。軽度の方を対象に、当日の体調や希望に合わせた柔軟なサービスが特徴です。

畑で育てた野菜を使った調理レクも人気。今年は収穫した野菜で豚汁を作り、季節を感じながら笑顔の時間を過ごしました。

「地域で、顔なじみとゆったり暮らす」その想いを、るぴなすが支えています。



Your Partner in Quality Care

介護福祉士ってご存知ですか？



介護福祉士とは？

介護福祉士は、介護の専門知識と技術を持ち、ご利用者の生活を支える国家資格を有する専門職です。資格を取るには国家試験に合格することが必要で努力と学びが欠かせません。試験の合格率は約75%と比較的高めですが挑戦には準備が必要です。

主な取得ルートは、

- ①介護現場で3年以上の実務経験＋実務者研修修了（※介護の基本から医療的ケアまで幅広く学ぶ研修）、
- ②養成施設での専門課程修了、
- ③福祉系高校卒業などがあります。

介護福祉士の割合はどれくらい？

全国では介護職員の約55～58%が資格を持っていますが、私たち【菊水こまちの郷】では83%の職員が介護福祉士として活躍中です。資格を持つことで、専門的な知識と技術を生かし、より質の高いケアをご利用者にお届けしています。また、より多くの職員が資格を取得できるよう、法人として介護福祉士受験対策講座を開催し、学びの機会を積極的に提供しています。これからも法人全体で資格取得を強力に支援し、介護福祉士の育成に力を注ぎながら、質の高い介護サービスを提供し続けてまいります。

Quiz

国家試験 模擬問題

試験では介護技術だけでなく、生活支援や家事援助も出題されます。介護のプロとして様々なことを学んでいます。ここでは「洗濯」に関する問題に挑戦してみましょう！

洗濯表示で、三角形の中に「×」がついているマークの意味として正しいものは何ですか？

- A. アイロンをかけてはいけない。 B. 漂白剤を使用してはいけない。
C. 洗濯機を使用してはいけない。 D. ドライクリーニングに出してはいけない。



△の中に「×」がついているマークは、アイロンをかけることを禁じます。正解はAです。

Connect & Learn More

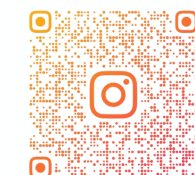
広報誌をリニューアルしました。初回の第1号は施設紹介を中心にお伝えしました。今後も【菊水こまちの郷】や【るぴなす】の取り組みの様子などをしっかりお伝えしてまいりますので、引き続きご愛読いただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

ひとりと向きあう。
社会福祉法人
溪仁会

SNSで施設の様子を紹介しています。ぜひご覧ください！



菊水こまちの郷（公式）



@KOMACHINOSATO_RUPINASU

発行：菊水こまちの郷

〒003-0814

発行責任者：施設長 土井 陸維

札幌市白石区菊水上町4条3丁目94-64

TEL (011) 811-8110